

Seahorse XF Mito Tox Assay Kit, Part Number 103595-100

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: Seahorse XF Mito Tox Assay Kit, Part Number 103595-100		
品番 (化学検査キット)	: 103595-100		
部品番号	Oligomycin	: 情報なし。	
	FCCP	: 情報なし。	
	Antimycin A/ Rotenone	: 情報なし。	
供給者/ 製造者	: 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社		
	住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1		
	電話番号 +81-42-660-3111		
緊急連絡電話番号 (受付時間)	: CHEMTREC®: +(81)-345209637		
化学製品の推奨される用途	: 研究専用です。 診断用ではありません (RUO)。		
	Oligomycin	6 x 5.722 mg	
	FCCP	6 x 22.593 mg	
	Antimycin A/ Rotenone	6 x 1.145 mg	

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

Antimycin A/ Rotenone

H400

水生環境有害性 短期(急性) - 区分1

H410

水生環境有害性 長期(慢性) - 区分1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

: Antimycin A/ Rotenone



注意喚起語

: Oligomycin
FCCP
Antimycin A/ Rotenone

注意喚起語なし。

注意喚起語なし。

警告

危険有害性情報

: Oligomycin
FCCP
Antimycin A/ Rotenone

重大な作用や危険有害性は知られていない。

重大な作用や危険有害性は知られていない。

H410 - 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

: Oligomycin
FCCP
Antimycin A/ Rotenone

該当しない

該当しない

P273 - 環境への放出を避けること。

応急措置

: Oligomycin
FCCP
Antimycin A/ Rotenone

該当しない

該当しない

P391 - 漏出物を回収すること。

保管

: Oligomycin
FCCP
Antimycin A/ Rotenone

該当しない

該当しない

該当しない

廃棄

: Oligomycin
FCCP
Antimycin A/ Rotenone

該当しない

該当しない

P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

補足的なラベル要素

: Oligomycin
FCCP
Antimycin A/ Rotenone

認知済みのものは無し。

認知済みのものは無し。

認知済みのものは無し。

その他の危険有害性

: Oligomycin
FCCP
Antimycin A/ Rotenone

認知済みのものは無し。

認知済みのものは無し。

認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	混合物 混合物 混合物
-------------	---	-------------------

CAS 番号/他の特定名

化学名又は一般名	%	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	労働安全衛生法
Oligomycin 塩化ナトリウム	≤10	7647-14-5	1-236	7-(3)-1053
FCCP 塩化ナトリウム [[4-トリフルオロメトキシフェニルヒドラゾノマロノニトリル	≤10 ≤10	7647-14-5 370-86-5	1-236 情報なし。	7-(3)-1053 情報なし。
Antimycin A/ Rotenone 塩化ナトリウム アンチマイシンA ロテノン	≤10 ≤10 ≤10	7647-14-5 1397-94-0 83-79-4	1-236 情報なし。 情報なし。	7-(3)-1053 情報なし。 8-(4)-592

4. 応急措置

吸入した場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。</p> <p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。</p> <p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。</p>
皮膚に付着した場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	<p>多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。</p> <p>多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。</p> <p>多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。</p>
眼に入った場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	<p>すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。</p> <p>すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。</p> <p>すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。</p>
飲み込んだ場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	<p>水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。</p> <p>水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。</p> <p>水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質</p>

4. 応急措置

を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

吸入した場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚に付着した場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。
眼に入った場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	特にデータは無い。 特にデータは無い。 特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	特にデータは無い。 特にデータは無い。 特にデータは無い。
眼に入った場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	特にデータは無い。 特にデータは無い。 特にデータは無い。
飲み込んだ場合	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	特にデータは無い。 特にデータは無い。 特にデータは無い。

応急処置をする者の保護

: Oligomycin	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
FCCP	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
Antimycin A/ Rotenone	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

医師に対する特別な注意事項

: Oligomycin	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
FCCP	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
Antimycin A/ Rotenone	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	火災に応じた消火剤を使用する。 火災に応じた消火剤を使用する。 火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。
特有の危険有害性	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	特定の火災爆発の危険有害性はない。 特定の火災爆発の危険有害性はない。 本製品は水生生物に対して非常に有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
有害な熱分解生成物	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	分解生成物には以下の物質が含まれることがある： ハロゲン化合物 金属酸化物 分解生成物には以下の物質が含まれることがある： 二酸化炭素 一酸化炭素 ハロゲン化合物 金属酸化物 分解生成物には以下の物質が含まれることがある： ハロゲン化合物 金属酸化物
特有の消火方法	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について	: Oligomycin	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
	FCCP	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
	Antimycin A/ Rotenone	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。

6. 漏出時の措置

緊急時対応要員について

: Oligomycin

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

FCCP

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

Antimycin A/ Rotenone

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

: Oligomycin

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

FCCP

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

Antimycin A/ Rotenone

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。漏出物を回収すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

Oligomycin

漏出区域から容器を移動する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に收容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

FCCP

漏出区域から容器を移動する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に收容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

Antimycin A/ Rotenone

漏出区域から容器を移動する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に收容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項

: Oligomycin

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。摂取してはならない。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。環境への放出を避けること。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。

FCCP

Antimycin A/ Rotenone

衛生対策

: Oligomycin

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

FCCP

Antimycin A/ Rotenone

保管

7. 取扱い及び保管上の注意

安全な保管条件

: Oligomycin

保管温度: 室温. 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。

FCCP

保管温度: 室温. 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。

Antimycin A/ Rotenone

保管温度: 室温. 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

保護具

呼吸用保護具

: 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼、顔面の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具

: 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

物理状態

: Oligomycin 固体
FCCP 固体
Antimycin A/ Rotenone 固体

色

: Oligomycin 白。
FCCP 淡色。/ 黄色。
Antimycin A/ Rotenone 白。

9. 物理的及び化学的性質

臭い	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	無臭。 無臭。 無臭。
臭いのしきい値	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
pH	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
融点/凝固点	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
引火点	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	該当しない 該当しない 該当しない
燃焼点	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
蒸発速度	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
可燃性	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	該当しない 該当しない 該当しない
蒸気圧	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
相対ガス密度	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	該当しない 該当しない 該当しない
相対密度	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
溶解度	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
n-オクタノール/水分配係数	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	該当しない 該当しない 該当しない
自然発火点	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	該当しない 該当しない 該当しない
分解温度	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
粘度	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	該当しない 該当しない 該当しない
粒子特性		
中央粒径値	: Oligomycin FCCP Antimycin A/ Rotenone	情報なし。 情報なし。 情報なし。
その他のデータ		
追加情報なし		

10. 安定性及び反応性

反応性	: Oligomycin	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
	FCCP	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
	Antimycin A/ Rotenone	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: Oligomycin	製品は安定である。
	FCCP	製品は安定である。
	Antimycin A/ Rotenone	製品は安定である。
危険有害反応可能性	: Oligomycin	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
	FCCP	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
	Antimycin A/ Rotenone	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: Oligomycin	特にデータは無い。
	FCCP	特にデータは無い。
	Antimycin A/ Rotenone	特にデータは無い。
混触危険物質	: Oligomycin	酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
	FCCP	酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
	Antimycin A/ Rotenone	酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
危険有害な分解生成物	: Oligomycin	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。
	FCCP	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。
	Antimycin A/ Rotenone	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
Oligomycin 塩化ナトリウム	LD50 経口	ラット	3000 mg/kg	-
FCCP 塩化ナトリウム	LD50 経口	ラット	3000 mg/kg	-
Antimycin A/ Rotenone 塩化ナトリウム アンチマイシンA ロテノン	LD50 経口	ラット	3000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	28 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	25 mg/kg	-

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l)
Oligomycin Oligomycin 塩化ナトリウム	110784	N/A	N/A	N/A	N/A
	3000	N/A	N/A	N/A	N/A
FCCP FCCP 塩化ナトリウム [[4-トリフルオロメトキシフェニルヒドラゾノマロノニトリル	110103.4	N/A	N/A	N/A	N/A
	3000	N/A	N/A	N/A	N/A
	100	N/A	N/A	N/A	N/A
Antimycin A/ Rotenone Antimycin A/ Rotenone 塩化ナトリウム アンチマイシンA	110285.4	N/A	N/A	N/A	N/A
	3000	N/A	N/A	N/A	N/A
	28	N/A	N/A	N/A	N/A

11. 有害性情報

ロテノン	25	50	N/A	N/A	N/A
------	----	----	-----	-----	-----

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露時間	観察
Oligomycin 塩化ナトリウム	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 mg	-
	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	10 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
FCCP 塩化ナトリウム	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 mg	-
	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	10 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
Antimycin A/ Rotenone 塩化ナトリウム	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 mg	-
	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	10 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
ロテノン	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	1 %	-

呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
Antimycin A/ Rotenone ロテノン	区分1 区分3	-	神経系 気道刺激性

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
Antimycin A/ Rotenone ロテノン	区分1 区分2	-	腎臓、肝臓 骨髄、消化管

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

12. 環境影響情報

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
Oligomycin 塩化ナトリウム	急性 EC50 4.74 g/L 真水 急性 EC50 519.6 mg/l 真水 急性 IC50 6.87 g/L 真水 急性 LC50 1000000 µg/l 真水 慢性 LC10 781 mg/l 真水	藻類 - Chlamydomonas reinhardtii 甲殻類 - Cypris subglobosa 水生植物 - Lemna minor 魚類 - Morone saxatilis - 幼虫 甲殻類 - Hyalella azteca - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	96 時間 48 時間 96 時間 96 時間 3 週
	慢性 NOEC 6 g/L 真水 慢性 NOEC 0.314 g/L 真水 慢性 NOEC 100 mg/l 真水	水生植物 - Lemna minor ミジンコ類 - Daphnia pulex 魚類 - Gambusia holbrooki - 成体	96 時間 21 日 8 週
FCCP 塩化ナトリウム	急性 EC50 4.74 g/L 真水 急性 EC50 519.6 mg/l 真水 急性 IC50 6.87 g/L 真水 急性 LC50 1000000 µg/l 真水 慢性 LC10 781 mg/l 真水	藻類 - Chlamydomonas reinhardtii 甲殻類 - Cypris subglobosa 水生植物 - Lemna minor 魚類 - Morone saxatilis - 幼虫 甲殻類 - Hyalella azteca - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	96 時間 48 時間 96 時間 96 時間 3 週
	慢性 NOEC 6 g/L 真水 慢性 NOEC 0.314 g/L 真水 慢性 NOEC 100 mg/l 真水	水生植物 - Lemna minor ミジンコ類 - Daphnia pulex 魚類 - Gambusia holbrooki - 成体	96 時間 21 日 8 週
Antimycin A/ Rotenone 塩化ナトリウム	急性 EC50 4.74 g/L 真水 急性 EC50 519.6 mg/l 真水 急性 IC50 6.87 g/L 真水 急性 LC50 1000000 µg/l 真水 慢性 LC10 781 mg/l 真水	藻類 - Chlamydomonas reinhardtii 甲殻類 - Cypris subglobosa 水生植物 - Lemna minor 魚類 - Morone saxatilis - 幼虫 甲殻類 - Hyalella azteca - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	96 時間 48 時間 96 時間 96 時間 3 週
	慢性 NOEC 6 g/L 真水 慢性 NOEC 0.314 g/L 真水 慢性 NOEC 100 mg/l 真水	水生植物 - Lemna minor ミジンコ類 - Daphnia pulex 魚類 - Gambusia holbrooki - 成体	96 時間 21 日 8 週
アンチマイシンA	急性 EC50 0.024 ppm 海水 急性 LC50 0.000019 mg/l 真水	甲殻類 - Penaeus duorarum 魚類 - Oncorhynchus mykiss	48 時間 96 時間
	急性 EC50 190 µg/l 真水	甲殻類 - Simocephalus serrulatus - 幼虫	48 時間
ロテノン	急性 EC50 3.7 µg/l 真水 急性 LC50 1.9 ppb 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna 魚類 - Oncorhynchus mykiss	48 時間 96 時間
	慢性 NOEC 0.3 ppb 真水 慢性 NOEC 1.01 ppb	ミジンコ類 - Daphnia magna 魚類 - Oncorhynchus mykiss	21 日 32 日

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
FCCP [[4-トリフルオロメトキシフェニルヒ ドラゾノマロニトリル	3.68	-	低
Antimycin A/ Rotenone ロテノン	4.1	25.7	低

土壌中の移動性

: 情報なし。

オゾン層への有害性

: 該当しない

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA

: 規定なし。

追加情報

備考: デミニミスの免除

使用者のための特別な予防措置

: **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬

: 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
Oligomycin 第一類危険物	以下を含む物質: 硝酸塩類	II	可燃物接触注意	300 kg
FCCP 第一類危険物	以下を含む物質: 硝酸塩類	II	可燃物接触注意	300 kg
Antimycin A/ Rotenone 第一類危険物	以下を含む物質: 硝酸塩類	II	可燃物接触注意	300 kg

消防活動阻害物質

: 非該当

労働安全衛生法

危険物

: 酸化性の物

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
FCCP 有機シアン化合物及びこれを含有する製剤	0.081	劇物	2-1-32

化学物質排出把握管理促進法

非該当

海洋汚染防止法

: 海洋汚染物質: 海洋汚染物質

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2021/11/09

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説

ATE = 急性毒性推定値
 BCF = 生物濃縮係数
 GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
 IATA = 国際航空輸送協会
 IBC = 中型運搬容器
 IMDG = 国際海上危険物
 LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
 MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。 ("Marpol" = 海洋汚染)
 N/A = データなし
 UN = 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
Antimycin A/ Rotenone 水生環境有害性 短期(急性) - 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) - 区分1	算出方法 算出方法

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。